



10年で農村はどう変わったか

披露してくれました。

基調講演では元農林水産省で多面的機能発揮の制度にかかわり、現在は山梨県副知事の柵木ませぎ環氏の講演がありました。

山口県と山梨県の農業生産の比較

や、農業への企業参入の状況などの紹介がありました。
私たちが取り組んでいる「多面的機能支払い制度」がどれだけ効果を上げているかという点についても数字を挙げて説明していました。先の熊本地震の復旧にもこの交付金が非常に有効に使われたことも紹介しました。
また農業の持つ力として福祉施設との連携にも言及がありました。

不利な条件を乗り越えてこそ

当時、日本最年少の市長として一躍

有名になられた前柳井市長河内山哲郎氏を講師に迎えての「地域再生の処方箋」は極めて興味深い内容でした。

現在河内山氏は松下政経塾の塾長として活躍しておられます。今回は豊富な海外視察の経験をもとに、難しい条件の中から、新たな活路を見出している実例を挙げて困難な時こそチャンスなのだと言説しました。

エストニアという国は北欧とソビエ

ト連邦に挟まれた国でした。占領などの苦しい歴史を乗り越えて、ソ連の崩壊後独立国として歩み始めています。今では最先端のIT技術を駆使して、目覚ましい成果を上げていることの紹

介がありました。

農業に関連するものでは雨の降らないイスラエルで食糧自給率が100%であるという事実も学びました。年間降水量が70ミリですから、日本では考えられません。しかし灌漑施設などの整備で800万人の食糧を賄うことができているのです。デンマークでは食糧自給率300%、エネルギー自給率156%とのこと、つまり輸出しているのです。

既存の産業にICTが結びつくこと
によって新たな活動、産業が起きる「化学変化」の可能性が高くなる、そうした社会的起業家が出てくるだろうとしました

たぶせ山城太鼓の卒業生がメンバーとなって2014年に結成され「山城組 空」の迫力ある演奏

「農村環境の未来を考える研修会」が11月8日に山口県総合保健会館で行われました。毎回関係団体から有益な講義がいただけますが、今回で第10回目を迎えました。

開会アトラクションとして、田布施町の和太鼓集団「山城組 空」の演奏がありました。県内外で演奏をしているのとこのですが、その迫力、撥の代わりにプラスチックのハエたたきを使ったり、鉦の音だけでキャッチボールを表現したり、自由自在の演奏技術を

休みなく続く農業生産

農事組合法人八方原では麦の植え付けが終わりました。

植え付け前には、圃場の排水の改良、土壌の改良など多くの作業が必要です。植え付けは専用の機械で、面白くように簡単に植えていきます。

もしも昔ながらの種まきだと、かなりの部分は鳥のえさになっているかもしれませんね。この最新の機械はそんな心配はありません。

まず種を蒔くための細い溝を掘りま

す、そこに種を置き、その上に土をかぶせます。そして上から圧力をかけて落ち着かせます。その上に施肥なども一緒にやるのですから、すごいですね。

これから冬に向かう時期も、農作業は続きます。農業もビジネス、ゆっくり、のんびりとはいきません。



黒く見えるところが麦畑（八方原地区を一望するタケノコ山から）

地域の振興を考える

11月18日、八方原地域振興会議が開かれました。地域の諸問題について関係団体長の意見を聞いて、運営方針を定める会議です。

市から依頼されている、森下地区のアパート周辺の水路管理については、森下区や関係施設と協力して、年一回の清掃作業の中に組み入れる方向が、合意されました。

従来、岩屋地区が清掃作業を行ってきた事業所周りの水路管理については、「今までの作業内容の確認をすることが必要」だとされました。その上で、事業者の方々の協力を得ながら作

しゅんせつ「長年の土砂」



4トンダンプで4杯、10トン以上の土砂

業の計画を練ることとなりました。事業者からの意見としては、日曜日の作業より平日の方が、参加しやすいかもしれないということでした。

また、従来から行ってきた水路清掃について機械力の導入を行うことで合意しました。

水路内に堆積した土砂をバケツで市道まで引き上げる作業は、今後行わないようにすること。機械力と多くの人員の同時作業は危険を伴うので、一緒には行わないこと。

山側からの沈砂池の浚渫を行ったことから、次年度以降の土砂の流れ込みの量は変わるので、よく見極めて実施の計画を立てることとなりました。

山側からの水路の沈砂池の浚渫を行いました。

おごおり地域づくり協議会の「法定外公共物整備事業」の補助対象工事です。工事は中国建設工業に依頼しました。



初めて底が見えたダンプに4杯分の土砂がたまっていました。また三心石材の作業場南側の沈砂池でも大量の土砂が取り除かれました。

餅つきぺったん

恒例となりました餅つき体験大会を福祉施設「ぬくもり」で行うことになりました。どなたでも参加できます。ご来場をお待ちしています。



餅つき（昨年の大会）
【日時】12月17日(日) 午前9時より
【会場】「ぬくもり」
駐車場周辺
参加無料
お土産お餅あります。(限りあり)